

**水**月公園の花菖蒲が見頃の季節となりました。満開の花菖蒲園の中には、友好都市である中国・蘇州市から、双方がともに美しく芳しいとの願いを込めて贈られた東屋「齊芳亭」があり、この季節の水月公園は、まさに芳しい情景をご覧いただくことができます。

さて、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まで100日を切りました。本市は、これまで、ロシア男子バレーボールチームやフランス車いすラグビーチームの事前キャンプ受け入れを決定し、「共生社会ホストタウン」として、パラスポーツの普及や心のバリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくりに関する、動画作成やパラスポーツ体験会などのさまざまな取り組みを行ってまいりました。

4月13日・14日には、コロナの収束と東京大会の開催を願って、万博記念公園で聖火リレーが行われました。現地で観覧させていただきましたが、まだまだコロナの収束が見えない中でも、力強く笑顔で走る市民ランナーの方々の姿に勇気をいただきました。今後は、コロナ禍の状況を鑑み各種事業を決定および実施し機運醸成を図ってまいります。また、これら事業が東京大会で終わりではなく、本市として共生社会の実現に向けて、参加国との大会を超えた相互交流により人的・経済的・文化的なつながりを築く機会にしてまいります。

一方、コロナの対応については、高齢者へのワクチン接種が本格的に始まりま

した。ワクチン接種は、重症化リスクの大きさなどを踏まえて接種の順位が決められており、まずは高齢者の方、次に基礎疾患を有する方および高齢者施設などの従事者の方、供給量に合わせて60歳から64歳の方、最後に右記以外の方への接種となっております。国は、希望する高齢者には7月末を念頭に接種を終えることができるよう政府を挙げて取り組んでいく考えを示しています。本市としても市民の命や健康を守るために、当面は高齢者への接種に総力を挙げて取り組み、国からのワクチン供給に応じて迅速に接種できるよう進めてまいりますので、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

最後に、市立池田病院の医療従事者を応援するための寄付金を募っていましたが、市民からの寄付金は9百万円を超え、総額約1千2百万円の寄付金が集まりました。この市民の方々の想いに、心より感謝申し上げます。その願いに応えるために、決意あらたにコロナ対応に邁進してまいりますのでよろしくお願いたします。



池田市長 富田 裕樹

目次	
2~5	<b>特集</b> <b>収束を願いつなぐ聖火</b>
6	<b>市政トピックス</b> 本市への寄付金について／新しい子ども医療証を発行
8~23	<b>市からのお知らせコーナー</b> 募集、催し、税金・保険年金、産業・仕事、環境・安全、相談・その他、福祉、高齢者、健康、スポーツ
24~28	<b>子育て情報 いけ抱っ子</b>
29	わがまち歴史散歩
30	伝言板
31	市民文化会館の催し
32	池田報道 市民記者が行く！
33~34	<b>市政トピックス</b> 熱中症は予防が大切です／さくらまつり写真コンテスト／「てしまの森」がオープン／日常生活用具給付種目を追加／市営住宅入居者募集
35	くらしの窓口／健康相談Q&A

## 今月の表紙



今夏開催予定の東京大会を前に、4月13・14日、吹田市・万博記念公園で聖火リレーが行われました。本市からは12人のランナーが参加し、その中で市内在住の3人に聖火ランナーに対する思いを語っていただきました。

池田市ホームページ  
<https://www.city.ikedada.osaka.jp/>

広報 **いけだ**  
 2021.6